

## 第1 基本方針

球磨地域の水田地帯では、水稲、野菜、タバコ、畜産などが営農されている。畑地では、川辺川農業利水対象地を中心に露地野菜、茶、落葉果樹などの導入が推進され、生産性の高い大規模経営及び所得向上のための安定的複合経営の確立が急がれている。

他方で、担い手の減少と高齢化に対応した省力化技術の開発や、新しい米・麦政策実施に伴う水田利用の再構築、環境保全型農業に関する技術開発、新たなニーズや問題に対応した高品質・安定生産技術の開発など、喫緊の課題がある。

また、消費動向の変化に伴う業務加工用農産物や薬用作物の増加が当地域にも波及しており、新たな需要を満たす作物の選定や、それに適合した栽培技術の確立が必要となっている。

このため、普及・行政・農業団体などの関係機関と密接な連携・協調を図りながら、球磨地域が直面する技術的諸問題を迅速・的確にとらえ、球磨地域特有の気象条件などに適した茶、落葉果樹の優良品種選定と、その特性に合った高品質安定多収生産のための栽培技術の開発を行う。さらに、省力・低コスト生産技術の検討を行い、各専門研究所と連携し、新技術の普及・実用化のための応用組立実証を中心に試験研究を進める。

## 第2 重要研究事項

### 1 球磨地域に適した茶・落葉果樹の優良品種選定

国、県などで新たに育成された品種系統の中から、品質・栽培特性の両面で球磨地域に適する茶、落葉果樹（早生モモ）の品種を選定し、栽培のための基礎的なデータを収集する。

### 2 水稲野菜輪作体系下の作物安定栽培技術の開発（水田作部門）

水田農業は、高齢化や担い手の減少、農業経営環境の変化に伴い既存の水田作品目だけでは農業経営の維持が困難になっており、水稲と野菜の輪作体系確立が必要となっている。そこで、秋季露地野菜作付と作型・組み合わせが最適な水稲早生品種の安定生産技術を開発する。

### 3 落葉果樹産地の活性化につなげる高品質安定生産技術（果樹部門）

クリの優良品種である「美玖里」は、他品種に比べ樹勢が強く、特に若木期の枝の伸長が大きく徒長し枝の発生数が少ないため、低樹高への仕立てが困難で高樹高になりやすい。また、早生クリを中心に収穫・出荷後に発生する腐敗果などが課題となっている。そこで、低樹高栽培が可能となる中庸な枝を発生させ、枝梢の発生本数を増やすことで幼木期から若木期の収量増加につなげる栽培管理技術および腐敗果の発生低減技術について確立する。

### 4 緑茶ドリンク原料茶生産におけるペレット堆肥を活用した施肥体系の開発（茶部門）

茶価の低迷や需要動向の変化から大規模機械化体系の球磨産地などでは、緑茶ドリンク原料の生産が増加している。緑茶ドリンク原料茶は収量重視の生産体系で、それに合った施肥方法の確立が望まれている。一方では、環境保全の観点から牛ふん堆肥の有効利用が求められている。そこで緑茶ドリンク原料の生産において、地域資源である牛ふん堆肥を有効活用した施肥技術を確立する。

### 第3 試験研究課題一覧

【球磨農業研究所】

部門	大課題	中課題	予算		小課題	試験期間
			金額	区分		
茶・果樹	1. くまもとの魅力を発信できる新品種の開発・選定	(1) 球磨地域に適した茶・落葉果樹の優良品種選定	1,216	県単	球磨地域の機械化管理体系に対応した茶優良品種の選定 球磨地域の施設栽培に適した早生モモ優良品種の選定	S53～継続 S58～継続
水田作・果樹・茶	2. 稼げる農業を目指した革新的な生産技術の開発	(1) 水稻野菜輪作体系下の作物安定栽培技術の開発	841	県単	早生水稲品種の安定生産技術の実証	H27～H29
		<b>新規</b> (2) 落葉果樹産地の活性化につなげる高品質安定生産技術	1,218	県単	クリ腐敗果発生軽減のための効率的防除技術の確立 「美玖里」の幼木期の枝梢管理技術の確立 モモ「筑波127号」のトンネルハウス栽培における生育特性の把握	H29～H31 H29～H32 H30～H32
		(3) 緑茶ドリンク原料茶生産におけるペレット堆肥を活用した施肥体系の開発	800	県単	ペレット堆肥と尿素を組み合わせた施用方法の検討	H28～H30

注) **新規** : 本年度から新たに取り組む課題

**組替** : 課題設定時の内容を組み替えて設定する課題

**延長** : 課題設定時の完了予定年度を延長して設定する課題

**短縮** : 課題設定時の完了予定年度を短縮して設定する課題